

第 77 回大腸癌研究会リンパ節委員会 議事録

日時：2012 年 7 月 5 日（木）9:30-11:00

場所：ホテル日航東京、ジュピター

出席者（敬称略、順不同）：

近畿大学、肥田仁一。栃木県立がんセンター、固武健二郎。帝京大学医学部、橋口陽二郎。済生会横浜市南部病院外科、池 秀之。都立駒込病院、高橋慶一。大阪府立成人病センター、大植雅之、能浦真吾、真貝竜史、末田聖倫。防衛医科大学校、新藤英二。国立がんセンター東、伊藤雅昭。愛知県がんセンター、金光幸秀。久留米大学医学部、衣笠哲史。栃木県立がんセンター 松井孝至。横浜市立大学 大田貢由。防衛医科大学校、長谷和生（オブザーバー）。

テーマ：規約におけるリンパ節取扱いの諸問題。

I. 術前補助療法及びリンパ節郭清度に影響するリンパ節転移の画像診断、II. 側方リンパ節分類に画像上の Landmark を導入、III. TNM (7th) N2b の「7 or more」の導入、の 3 つがあがった。I の cN (+) 判定基準について、「MRI で size criteria」という意見が多いが、size や撮影条件や PPV or NPV のどちらを重視すべきかについて施設毎に意見が異なり、cN (+) 判定基準の策定が求められた。放射線科の意見を含め各施設の考えをすりあわせることとなった。（文責：肥田仁一）